

令和5年度 一般国道246号線
(厚木秦野道路) 建設に伴う発掘調査

おいがわいせみやいせき 及川伊勢宮遺跡 (厚木市 No.98 遺跡)

主催：公益財団法人かながわ考古学財団
共催：厚木市教育委員会

なんと 前方後円墳を確認！

及川伊勢宮遺跡の発掘調査

及川伊勢宮遺跡は、荻野川と中津川にはさまれた荻野台地上に立地しています。国土交通省の厚木秦野道路建設事業に伴い、2022年(令和4)年1月から発掘調査を実施しています。

近世から縄文時代に渡る遺構や遺物が検出されており、昨年度の見学会では中世の地下式坑にスポットを当てました。今回は新たに確認された前方後円墳を含めた古墳時代を中心に紹介します。この近辺では初めての発見であり、おおいに注目されます。



調査区 全景



古墳調査 墳丘を断ち割り、周溝の掘削、主体部の調査をします。



平面測量 発見された周溝や出土遺物の位置を測量し、記録をとりながら調査を進めます。



断面図作成 この周溝がどのように埋まったのか観察し、記録していきます。

こぶん こぶんじだい いま やく ねんまえ
古墳：古墳時代(今から約1700～1300年前)に
ちくぞう ちつ たか も あ ふんきゅう ゆうりよくしゃ
築造された、土を高く盛り上げた墳丘をもつ有力者
のお墓を指します。種類は円墳、方墳、前方後円墳、
はつかくふん と
八角墳など、バリエーションに富んでいます。



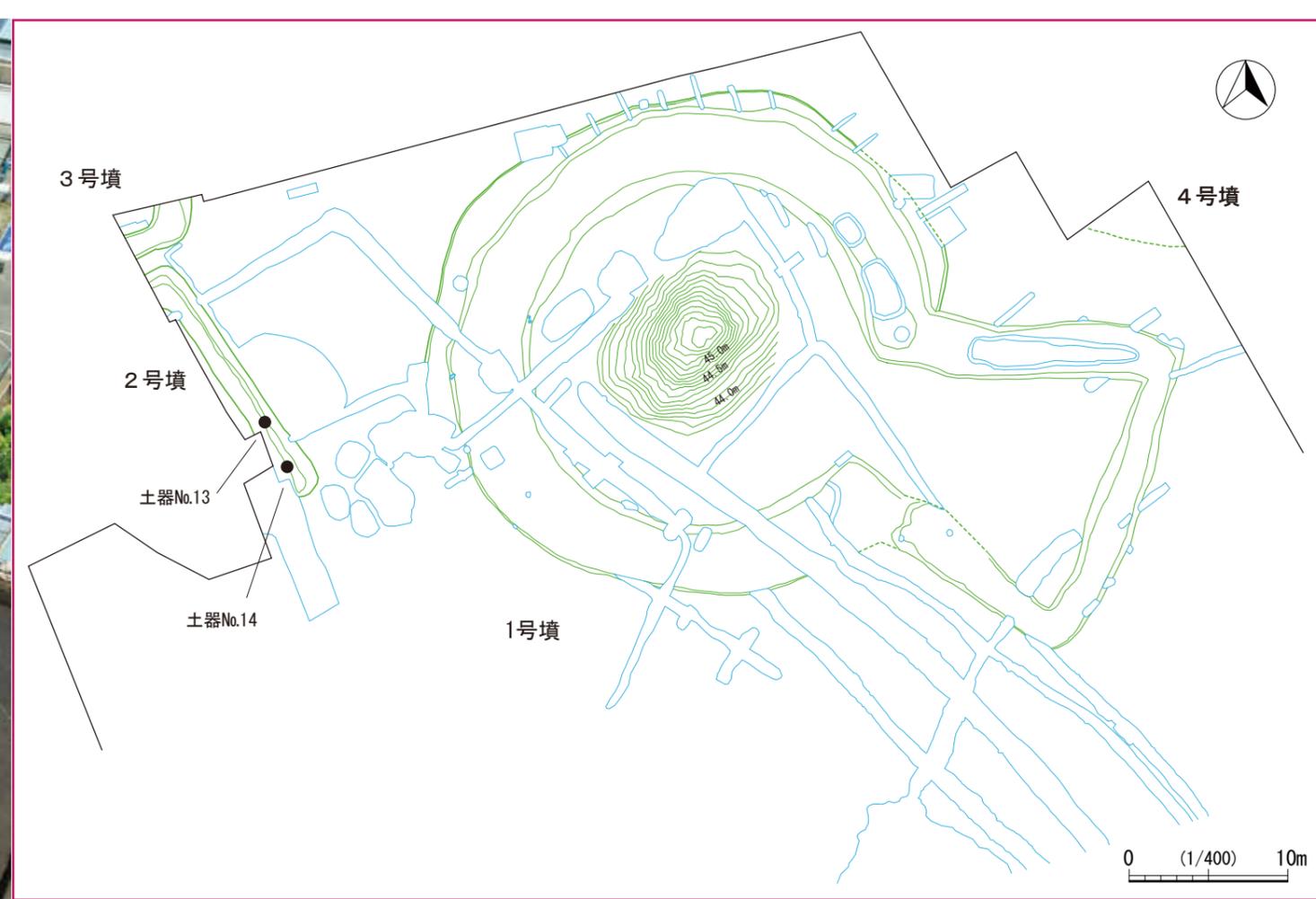
令和5(2023)年度
及川伊勢宮遺跡 見学会資料(厚木市 No.98 遺跡) 2023年5月20日
発行 公益財団法人かながわ考古学財団 (2023年10月5日改訂)
〒232-0033 横浜市南区中村町3-191-1
Tel: 045-252-8689
HP: <https://www.kaf.or.jp>
Facebook: <https://www.facebook.com/kanagawakougakuzaidan/>
Twitter: https://twitter.com/kouko_kanagawa



※1 本資料の内容は発掘調査段階のもので、今後の調査成果や出土品整理・分析等により評価を変える場合があります。
※2 赤色帯は今回の調査で発見された遺構や遺物のおおよその時期を示したものです。



1号墳 全景



及川伊勢宮遺跡 古墳配置図

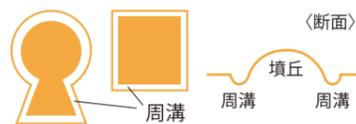
1号墳 〈前方後円墳〉

荻野川流域で初めて前方後円墳が発見されました。墳丘全長は37m(周溝を含めた主軸長は45m)で、後円部は直径21m、くびれ部は幅6m、前方部先端は約15mです。主軸の方位は北から68°西に傾いています。後円部は整った円形で、前方部はやや細身な印象を受けます。後円部には墳丘の造成土が高さ1.7mほど残っていて、その下には主体部がありそうです。

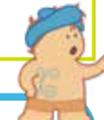
周溝は墳丘と相似形にめぐります。後円部側の幅が約5mで深さは1m程、前方部側が幅約3.5m、深さは50cmでした。周溝からは土師器の壺や高坏の破片が少量ながら出土しています。周溝の土器と、前方後円墳に隣接する方墳から出土した土器は、古墳時代前期(～中期初頭)といった時期になります。



しゅうこう こふん しゅうい めぐ
周溝：古墳の周囲に巡らされた溝を指します。



しゆたいぶ まいそうしせつ ししゃ
主体部(埋葬施設)：死者を埋葬した場所です。直接埋葬することを直葬といいます。古墳の埋葬施設には、粘土槨、竪穴式石室、横穴式石室、横口式石槨などがあります。



1号墳 断面



2号墳 断面



2号墳 遺物出土状況
(口径約12cm、高さ約11cm、最大径約10cm)



2号墳 遺物出土状況
(口径約8cm、高さ約10cm、最大径約9cm)



令和4年度の見学会の様子
昨年度の見学会では、後円部の墳丘だけが確認されていたので、円墳として紹介していました。

2号墳 〈方墳〉

2号墳は方墳です。古墳の大半が調査範囲の外側になり、方形にめぐる周溝のほぼ一辺が発見されています。墳丘は一辺約14mで、周溝を含めると17.5mほどの規模でした。周溝は幅が約1.8m、深さは約1.3mで、幅が狭いわりには深いという印象を受けます。溝の軸方位は北から35°西に傾いています。覆土中には火山灰が多く含まれた層がありました。その上層から小型丸底壺(完形)や高坏の破片などが出土しています。

出土遺物

「小型丸底壺」は「器台」と一揃いになる傾向があり、祭祀の時に使います。西日本の影響が見られる5世紀初め頃の土器です。

こふんじだい ふくそうひん ししゃ まいそうしせつ
古墳時代の副葬品：副葬品とは死者とともに埋葬施設に納められた品のことです。土師器、須恵器、青銅鏡、玉類、刀剣、甲冑、馬具などが主なものとしてあげられます。

